

米朝・日朝関係はどう展開するか
(2007年5月23日・平和フォーラム)

【1】 8回目の訪朝で確かめたこと

- (1) 開城工業団地の着実な進展
- (2) したたかな中国の「政経分離」 ⇒溢れる中国人と中国商品
- (3) 日本の経済制裁はまったく効果なし

【2】 急展開した米朝関係

- (1) ブッシュ政権の政策転換の背景 ⇒ライス外交の本格始動
- (2) 「2・13北京合意」は履行される
⇒「朝鮮半島非核化」は金日成主席の遺訓
- (3) 今後の問題点
 - ①ウラン濃縮計画の存否
 - ②既存の核弾頭の処理
 - ③軽水炉提供のタイミングと条件

【3】 日朝関係をどう打開するか

- (1) 国際法を説き、「過去の清算」の必要を訴えても世論は動かない
- (2) 日本のメディアは「大政翼賛会」
- (3) 拉致問題の「解決」とは何か⇒「解決」から「進展」へ
- (4) 安倍内閣の情報操作・世論操作をどう暴くか
- (5) 「落しどころ」模索の試み⇒参院選後の政界再編に期待